指定管理者の管理運営に対する包括評価シート

【評価対象期間】
令和元年度～令和5年度

施設概要			
名称	山形市民会館		
所在地	山形市香澄町二丁目9番45号		
施設目的	本市における芸術文化の拠点としてさまざまな文化事業を実施し、本市の芸術文化振興に寄与するため、市民により身近で利用しやすい施設として、市民や文化団体による自主的な活動を支援することを目的とする施設。		
指定管理者(選定方法)	山形市民会館管理運営共同事業体(選定方法:公募)		
指定管理期間	平成27年4月1日～令和7年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 会館の事業に関すること 2 会館の建物又は付属設備若しくは備付けの物品の維持管理に関すること 3 条例に規定する使用の許可・不許可・許可の取り消し等に関すること 4 条例に規定する入館の制限に関すること 5 規則で定めるところにより、開館時間・休館日等に関すること 等		
利用料金制導入の有無	有		
施設担当課	文化スポーツ部文化創造都市課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	審査委員会
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接客向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	S
利用人数		利用人数は目標を達成したか	B
利用件数		利用件数は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	B
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	B
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	S
の満足度調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	S
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	B

施設担当課の考え方

新型コロナウイルス感染症による利用者や市民会館運営への影響、世の中の変化への対応など大変な期間だったが、常に情報収集に努め、利用者寄り添い、迅速に対応するなど、利用者目線で運営してきたことは評価できる。引き続き、市民により身近で利用しやすい施設としての運営を期待する。

各種事業の企画・実施については、従来どおり、市民への質の高い芸術を鑑賞する機会の提供等、文化芸術の拠点としての事業実施のほか、多彩な文化活動が行われる市民会館の特性を活かし、文化と他分野との連携による新しい価値を創出できるような事業に挑戦し、文化創造都市の推進に努めてほしい。

また、文化芸術やその鑑賞機会についての情報発信を積極的に行い、市民会館の集客の増加と文化施設としての利用者増加につなげてほしい。

令和5年度に行った、能登半島地震の発災後に取り組んだ募金活動は、文化芸術事業を通して市民への相互扶助の気持ちを高める啓発活動となっており、今後ともこのような視点での啓発活動を続けてほしい。

施設管理については、公的施設として、適切な運営、適切な対応を徹底するとともに、非常時における対応についても、継続して緊急対応に関する訓練を実施するなど、市民の安全確保に留意してほしい。

包括評価の結果

全ての評価項目がB評価以上であるため、総合評価は良好とする。